

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門基礎分野	薬理学	1	30	1年次	9月	中川義浩
授業概要 薬物の特徴、人間に及ぼす影響、その作用と取り扱いについて理解する。						
到達目標 1.薬理学の概念を学び、薬の特性を説明できる。 2.薬物療法の基本原則を説明できる。 3.薬物の「生体内運命」を説明できる。 4.薬物の主作用と副作用の関係を説明できる。 5.主要な薬物の作用機序を説明できる。 6.重要疾患の代表的治療薬を列記できる。						
使用教材 テキスト 系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進〔3〕 薬理学 ; 医学書院 考文献等 その他 補足資料をプリントし授業中に配布する。						
評価 筆記試験						
授業計画						
時間・回数	授業内容					方法
4時間・2回	1.薬理学総論(1) 1)薬の作用と使用目的 2)薬物治療の概念 3)情報伝達 2.薬理学総論(2) 1)薬の作用部位：受容体 2)イオンチャネル 3)酵素					講義
4時間・2回	3.薬理学総論(3) 1)薬物動態と薬効に影響する要因 2)薬の有害作用 3)TDM 4.感染症とその治療 1)消毒薬及び抗生物質 2)感染症					講義
4時間・2回	5.末梢神経作用薬(1) 1)神経系の仕組み 2)局所麻酔薬 6.末梢神経作用薬(2) 1)交換神経作用薬 2)副交感神経作用薬					講義
4時間・2回	7.中枢神経作用薬(1) 1)全身麻酔薬 2)催眠薬 3)抗不安薬 4)抗てんかん薬 8.中枢神経作用薬(2) 1)抗精神病薬 2)抗うつ薬 3)抗パーキンソン病薬 4)麻薬					講義

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門基礎分野	薬理学	1	30	1年次	9月	中川義浩
時間・回数	授業内容					方法
4時間・2回	9.炎症とアレルギー 1)オータコイド 2)NSAID 3)ステロイド性抗炎症薬 4)抗アレルギー薬 10.循環器系作用薬 1)心不全 2)強心配糖体 3)心筋梗塞・狭心症 4)抗不整脈薬					講義
4時間・2回	11.呼吸器作用薬 1)抗喘息薬 2)鎮咳薬 3)去痰薬 12.消化器系作用薬 1)抗潰瘍薬 2)制吐薬 3)下剤 4)肝炎					講義
4時間・2回	13.泌尿器系作用薬 1)利尿薬 2)血液及び造血系 14.内分泌系とホルモン剤 1)性ホルモン 2)糖尿病 3)インスリン 15.化学療法剤・漢方薬 1)がん 2)東洋医学					講義
1時間・1回	まとめ (45分間)					講義
1時間・1回	筆記試験 (45分間)					講義
備考						